

一般助成 子どもの健やかな成長を願う事業(みちびき・はぐくみ)

「第4回高校生劇評グランプリ」事業

劇評を通して若い世代の舞台芸術への関心を喚起し 想像力や思考力の育成を目指す

「劇場へ行って劇評を書こう」をスローガンに、高校生による劇評を公募する「高校生劇評グランプリ」。若者の舞台芸術への関心を高め、観劇を通して想像力や思考力を伸ばし、表現力を育てることを目的として始まった。優秀な作品には最優秀賞、優秀賞、優れた成果を取めた高校へは団体賞が贈られ、公式サイトで公開される。



「第4回 高校生劇評グランプリ」の受賞者



「第4回 高校生劇評グランプリ」の開催を告知するチラシ

劇場が割引チケットを提供して 高校生の観劇と劇評執筆を応援

2013年に始まった「高校生劇評グランプリ」は、「NPO 法人日本学校演劇教育会」、「公益社団法人国際演劇協会日本センター」、全国高等学校演劇協議会、東京都高校演劇研究会などで構成される実行委員会が実施運営する。第4回目となる同グランプリは、2017年1月以降に国内で上演された舞台作品の劇評(レビュー)を2017年12月4日~2018年1月15日に公募、演劇評論家ら6人の選考委員により入賞者が決定し、3月27日に表彰式が行われた。観劇に際しては、劇場や制作会社の協力により割引となる「高校生応援チケット」が提供される。今回は人気のミュージカル『レディ・ベス』など24作品の協力を得て、のべ100人近くの高校生がこのチケットを利用して観劇を楽しんだ。また関連企画として、東京芸術劇場が

主催する劇評レクチャーシリーズ(劇評ワークショップ、観劇カフェ、トークイベント)を共催し、高校生の劇評執筆のチャレンジをサポートした。「劇評を書くのはハードルが高いので、高校生の背中を押すためにいろいろと仕掛けていく必要がある」と久保田邦明さん(NPO 法人日本学校演劇教育会)は言う。

第4回グランプリには25編の応募があり、最優秀賞に劇評タイトル『小さな戦争』(『池袋ウエストゲートパーク SONGS&DANCE』の劇評)と劇評タイトル『日本の北と南を繋ぐ舞台』(『ハイサイセバ~Hello-Goodbye~』の劇評)が選ばれた。例年より応募数は少なかったがどれも力作揃いで、選考委員からは「応募作品の水準の高さに驚いた」「1本の劇から多くを吸収し、自らの感性を磨いていた」「クリティカルな視線を持ち続けてほしい」などの講評が寄せられた。

グランプリ受賞者が舞台の魅力を発信 同世代に広がる観劇の輪

そもそも高校生を対象に本事業を立ち上げた背景には、以前のように学校の課外授業として舞台芸術を鑑賞する機会が少なくなり、若者が劇場に足を運ばなくなっているという現状がある。若者の劇場離れに危機感を持つ劇場側も割引チケットを用意してこの取り組みを後押しする。「感受性豊かな時期に、ぜひ劇場という特別な空間で生の舞台を観て感性を磨いてほしい」と久保田さん。さらに、高校生が劇評に取り組む意義について次のように説明する。

「単なる感想文と違い、舞台から得た感動を読んだ人に想像させたり、劇場に誘いその感動を共有できるように書くのが劇評です。そのためには、想像力や論理的な思

考力、表現力などが求められます。劇評を書くことは観客を育てるだけにとどまらず、例えば、入試改革によって大きく変わろうとしている高校教育においても書く力や考える力を伸ばす訓練になると思います」

目下の課題は高校生への周知を図ることで、今後は高校の教育現場への呼びかけを積極的に行っていきたいという。一方、同グランプリから新たな展開も生まれている。受賞者有志による学生グループが自主的に「高校生劇評応援プロジェクト」をスタート。専用サイトを立ち上げ、舞台作品の紹介や劇評を発表するほか、演劇人のインタビュー、稽古場レポートなどの企画記事にも取り組み、同世代に舞台の魅力を発信している。



表彰式には受賞者の家族や教員等関係者が集まった



表彰式後の懇親会では受賞者同士の交流も深めた

助成団体: 特定非営利活動法人 日本学校演劇教育会 <https://ameblo.jp/engeki-kyoiku>
<https://www.hs-theatrereview-gp.jp> (高校生劇評グランプリ公式サイト)



若い世代の観劇機会の拡大と劇評へのチャレンジを推進

運営資金に乏しく手弁当で取り組んでいた事業でしたので、今回助成をいただけて大変ありがたかったです。より多くの高校生に本事業を知ってもらうため、これまでできなかったチラシの作成やウェブサイトの拡充など、広報分野の充実に役立たせていただきました。機会がありましたらぜひまたご支援をよろしくお願いいたします。

NPO 法人 日本学校演劇教育会
理事 久保田邦明さん